



満開の薔薇でそこまで来ている春を待ちます。

菜の花

 特養版

平成29年2月号
 社会福祉法人聖啓会
 特別養護老人ホーム菜の花

ボランティア とっつこうくっつこう 1月11日

心落ちつく暖かな声と豊かな表現力の「とっつこうくっつこう」さんです。
 豊かな楽しい時間を過ごしました。

とっつこうくっつこう会の歌
 1. とっつこうくっつこうの不思議な声に答えたら
 心のやさしいはばきでまじり大判小判がくっついた
 そんな不思議なお話や笑顔のこぼれるお話を
 あなたの元へ届けます とっつこうくっつこう

ひとこと

ビューティサロンコゼット
古橋妙子

寒い日が続きますね
美容師の古橋妙子です。
介護施設で仕事をするようになって十四年程になります。
一週間に一度月曜日に菜の花に伺うようになって一年八ヶ月たちました。
最初の頃は施設内の説明をして頂いたにもかかわらず、勝手に勝手から右往左往することもありました。いろいろなことに少しずつ慣れて来ました今日この頃です。
私が仕事をしている所は四季がよく感じられる各階の広い廊下のつきあたりです。
利用者様と職員のやさしいやりとりと、よく手入れされた観葉植物と小さな花に囲まれて気持ちよく、仕事をさせて頂いております。
利用者様にはどんなヘアスタイルが似合うかしらと想いつつ...
カット・セット、薄化粧を済ませられた利用者様が鏡に映るご自分を見てニッコリして下さるとほんとうに嬉しいです。
これからも利用者様の清潔と美容に協力をさせて頂きませ。
どうぞ宜しくお願いします。

スナップ写真から

タオルで出来た千支の酉、かわいいでしょ

元日のお料理、一口おせちとお赤飯です。

門松の前でパチリ！あけましておめでとうございます。

厳しい寒さの中で生を受けた1月生まれの方は、我慢強く責任感の強い性格とのこと。いつまでのお元気で！

皆様と千支のお話、初歌・初笑いをして、プレゼントをお渡しして新年を迎えました。

4階 新年会 1月2日

2月15日から19日まで、**特養全面面会禁止です。**

2月13日(月)以降、2階フロアで2名様がいんフルエンザ発症のため、感染予防策として、2月19日(日)まで、特養全体をご家族面会全面禁止としています。

(ご家族様に説明の電話をしています)
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

20日以降については(ご家族様に新たに連絡を差し上げた場合)、面会「制限」に戻し、緊急の場合や遠方の方など、個別の事情に よっては一階フロアなどの面会が可能です。ご希望の場合は予めご相談ください。

(電話：〇五四一六四六七〇八七)
また、面会の際は必ずマスクを着用いただくようお願いいたします。

お忘れの際には受付にて20円でお譲りしています。

2月17日
鳥海先生の看取りケア講演

厚生労働省の身体抑制ゼロ推進会議の委員でもあり、東京都看護協会の保健師職能委員として活躍される鳥海 房枝(ちようかい・ふさえ)先生の「看取りケア」の講演が、菜の花で行われました。詳細を次号でご紹介いたします。

9日 健康倶楽部 4階
 10日 舌鼓クラブ 甘酒
 手芸倶楽部
 15日 華道倶楽部
 22日 書道倶楽部
 24日 絵手紙倶楽部

今月以降の行事予定(現在決定分)
 2月22日 書道倶楽部
 富士ユニット誕生会フルーチェ
 23日 音楽倶楽部 星ユニット
 健康倶楽部 3階
 24日 絵手紙倶楽部
 3月1日 とっつこうくっつこう
 8日 書道倶楽部

※菜の花だよりは、ホームページからもご覧になれます。
 発行：社会福祉法人聖啓会
 特別養護老人ホーム菜の花
 電話：054-646-7087
<http://seikeikai.info/>
 編集：中村



4階 健康倶楽部 1月26日

懐かしの歌に合わせて体操をやり
ました。頑張っていました。



音楽倶楽部 1月14, 18, 19日

「青い山脈」「リンゴの唄」「ラバウル小唄」、
「星影のワルツ」などの懐メロを歌います。
ギター伴奏にのって軽やかです。



寿 冬はあったか炊き立て炊き込みご飯でおふくろの味！

炊きあがりに、とってもいい匂いが広がりました。
「おいしいネ！」と皆様残さずお食べになりました。



書道倶楽部 1月11, 25日

集中して筆を運びました。筆の払い方もお見事です。先生からのご指導にも耳を澄ませて頂かれていました。

なのほな *Healing* <ヒーリング>

意味 <ほっとする・心と身体を回復・大宇宙に充滿する命>
キラリホット報告の内容をお伝えします。

2月の *Healing* は、「**看取り**」です。

菜の花では職員全員が関わりサービスの向上の為の7つの委員会があります。その一つに「看取り委員会」があります。菜の花に入居される方の大半が「菜の花での看取り」を希望して下さる事に職員は感謝と共に、その方の最期にどのような支援が出来るのだろうと、真剣に思い悩みます。お一人ずつの想いが異なる中、その方に問いかけても、答えを頂けないのが多い現状、受け持ちの職員を主に相談員他、チームでご家族の協力を得て、関わらせて頂く必要があります。まず、想いに応えて差し上げる。最後の一瞬まで。菜の花での看取りは「**良いお顔で生涯を終える事ができる**」ように、家族と共にその方を深く思い可能な限りの支援をと、考えております。

1月14日2階の寿ユニットで音楽倶楽部を行なった際、お元気な頃には音楽倶楽部を楽しまれて、良くラバウル小唄を愛唱されて居られた方が、もう余命幾ばくもない状態となり、その方に聞こえるように、ギター伴奏の職員が倶楽部のお仲間にラバウル小唄の合唱をお願いしました。その大合唱をその方はベットで静かに聴いて居られました。その後1月21日8時59分に満足された様な良いお顔でご家族に見守られご逝去されました。

